

16年ぶりにラジオマスター等更新 ～radiko.jp や次世代ラジオ放送環境を意識～

2014年7月28日 リリース

株式会社熊本放送（本社：熊本市中央区、代表取締役社長・秋岡廣宣、略称RKK）は、本社のラジオマスター及びラジオ営業放送システムの更新を行い、7月28日より新システムから放送を送出しています。

ラジオマスターの更新は16年ぶり（*1）、基幹機能である番組切替・信号変換などを一体化したシステムで装置を大幅にコンパクト化しました。ラジオ営業放送システムの更新は15年ぶり、少人数で安全な放送業務を行うことを目的に構成し、パブ枠管理やラジオカーの管理など、放送系・素材系の放送運行管理が統合されています。CM素材のBWF-JオーディオファイルフォーマットやEDI伝送（電子データ交換）にも対応しました。

今回のシステム更新により、スマートフォンやパソコンでクリアな音でラジオが聴けるradiko.jp（2012年1月から配信中）用の番組表を組むことができるようになり、今後の様々なラジオを取り巻く環境変化を意識した設計となりました。

*1：APC（自動番組制御装置）は20年ぶりとなります

■本内容に関するお問い合わせ

株式会社 熊本放送

メディア企画局 メディア広報部 TEL 096-328-5635